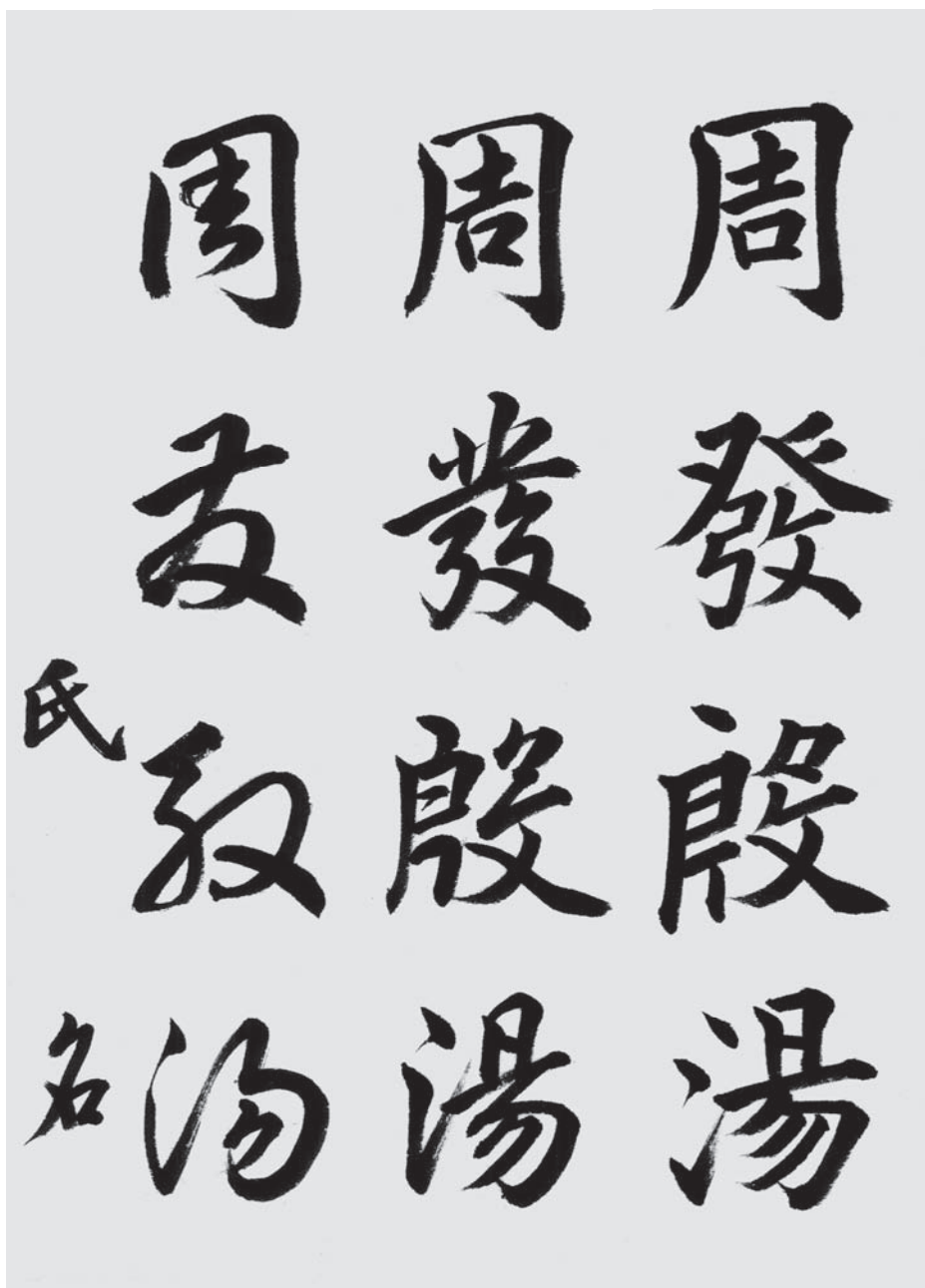


三体千字文を書く(26)

締切り 二月二十三日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科者でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

弔民伐罪
チヨウミンバツザイ

周發殷湯
シュウハツイントウ

民を弔み、罪を伐ったのは、
周の武王や、殷の湯王であった。

一般部規定課題

締切り 2月23日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

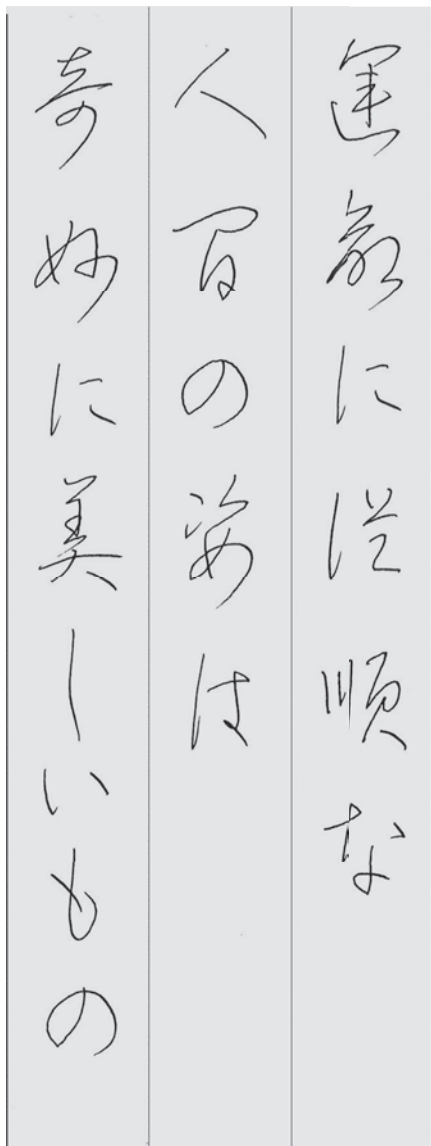
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕運命に従順な 人間の姿は 奇妙に美しいもの



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。
◎今月は草書。草書を書く時は、動きとか速度とかリズムが大切であり、形はそのあとに出来るものである。リズムカルな運ペンを会得されることを望みます。



おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

▼教範・書範は楷書
▼師範は行草または草書

◆3月課題予告(行書)
我々の仕事は
一種の芸事で理論や
方法よりも年数です

★運命…(書体は行草または草書)
坂口安吾(一九〇六―一九五五)
小説家「墮落論」より
世の中には「どうしてこんなにつらく苦しい人生を生きなければならぬのか」と神に訴えたくなるような人生を送っている人もいます。
しかしその運命を受け入れ歯を食いしばって前向きに生きる姿は、美しく感動的で、人を勇気付けてくれます。



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆3月課題予告(楷書)
想像力は
知識よりも
大切である

★音に…(書体は行書)
吉田兼好(三三頃―三五以後)
鎌倉末期の歌人「徒然草」より
聞くと見るとではかなり違いがあることは、誰しも経験していることでしょう。他人の評判を聞いて、後に実際に見たり会ったりした時、全く違う印象を持つことがよくあります。
最終的には、自分の目で確かめて判断することが大切でしょう。

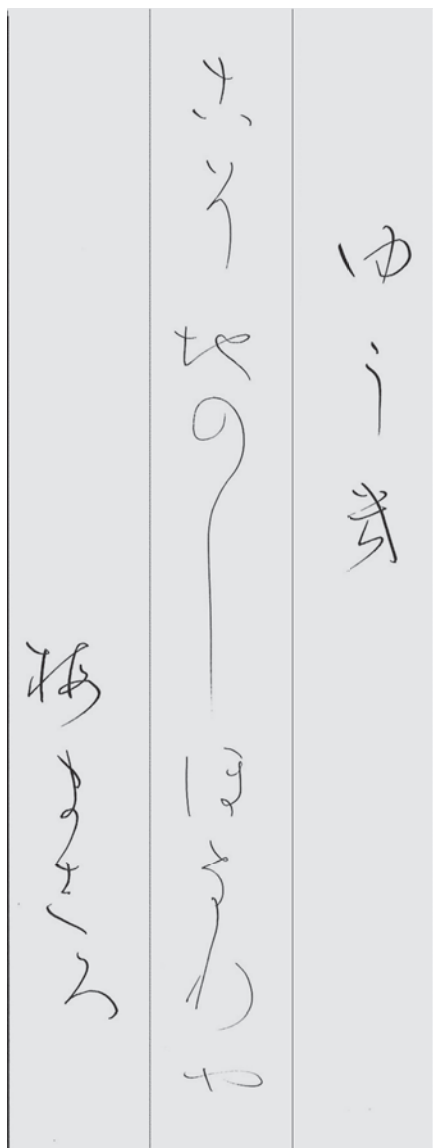
一般部かな課題

締切り 2月23日(必着)

準初段から六段まで

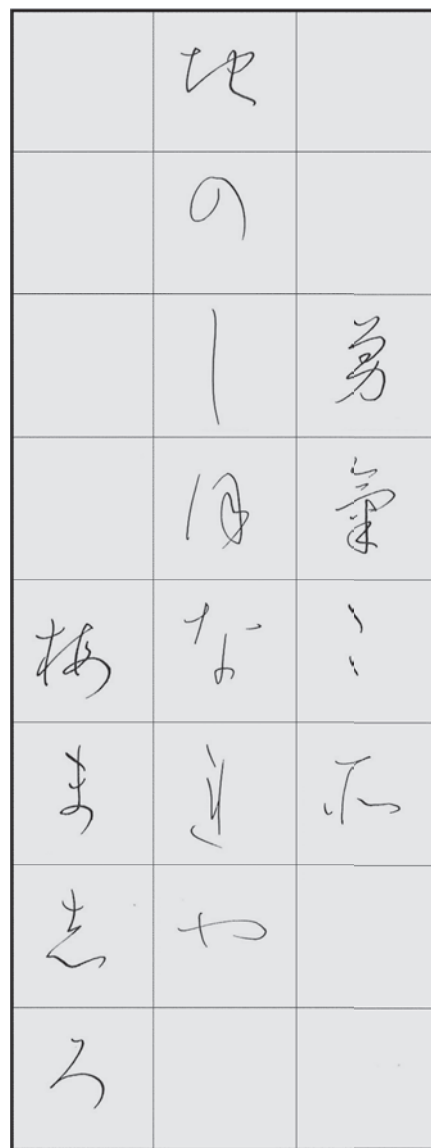
新入から1級まで

勇^{ゆう}氣^きこそ地^ちの塩^{しほ}なれや梅^{うめ}真^ま白^{しろ}



勇^{ゆう}氣^きこそ地^ちの塩^{しほ}なれや梅^{うめ}真^ま白^{しろ}

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



大^{おお}宮^{みや}春^{しゅん}兆^{ちょう}書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

大^{おお}宮^{みや}春^{しゅん}兆^{ちょう}書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆3月課題予告
流水^{りゅうすい}や宗谷^{そうや}の門波^{となみ}荒れやます

(山口誓子^{やまぐちせいし})

幾^き所^そ曾^そ保^ほ連^れ志^し
集^{しゅう}集^{しゅう}集^{しゅう}集^{しゅう}集^{しゅう}
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ
所^そ所^そ所^そ所^そ所^そ

〔古筆参考〕

「句意」早春の寒さの中で、白梅が花の勇者のごとく、凛^{りん}として咲き誇っている。この毅然^{きぜん}とした気品ある姿を見ていると、「マタイ」伝に言う、人の世の腐敗や墮落を防ぐ「地の塩」とは、ほかならぬ「勇氣」なのだと、ことを、しみじみと悟り、得心させられることである。

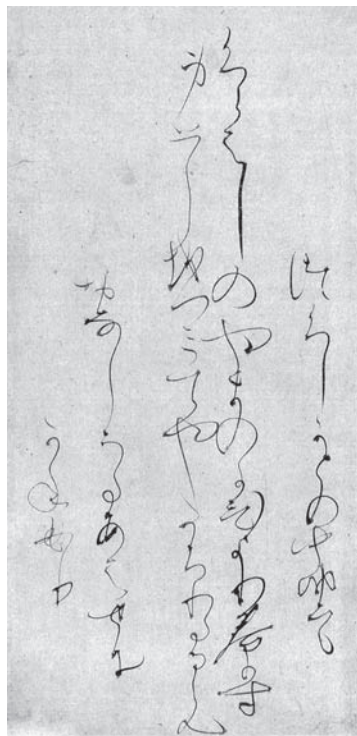
勇^{ゆう}氣^きこそ地^ちの塩^{しほ}なれや梅^{うめ}真^ま白^{しろ}
(中村草田男^{なかつくさたのお})

締切り 二月二十三日（必着）

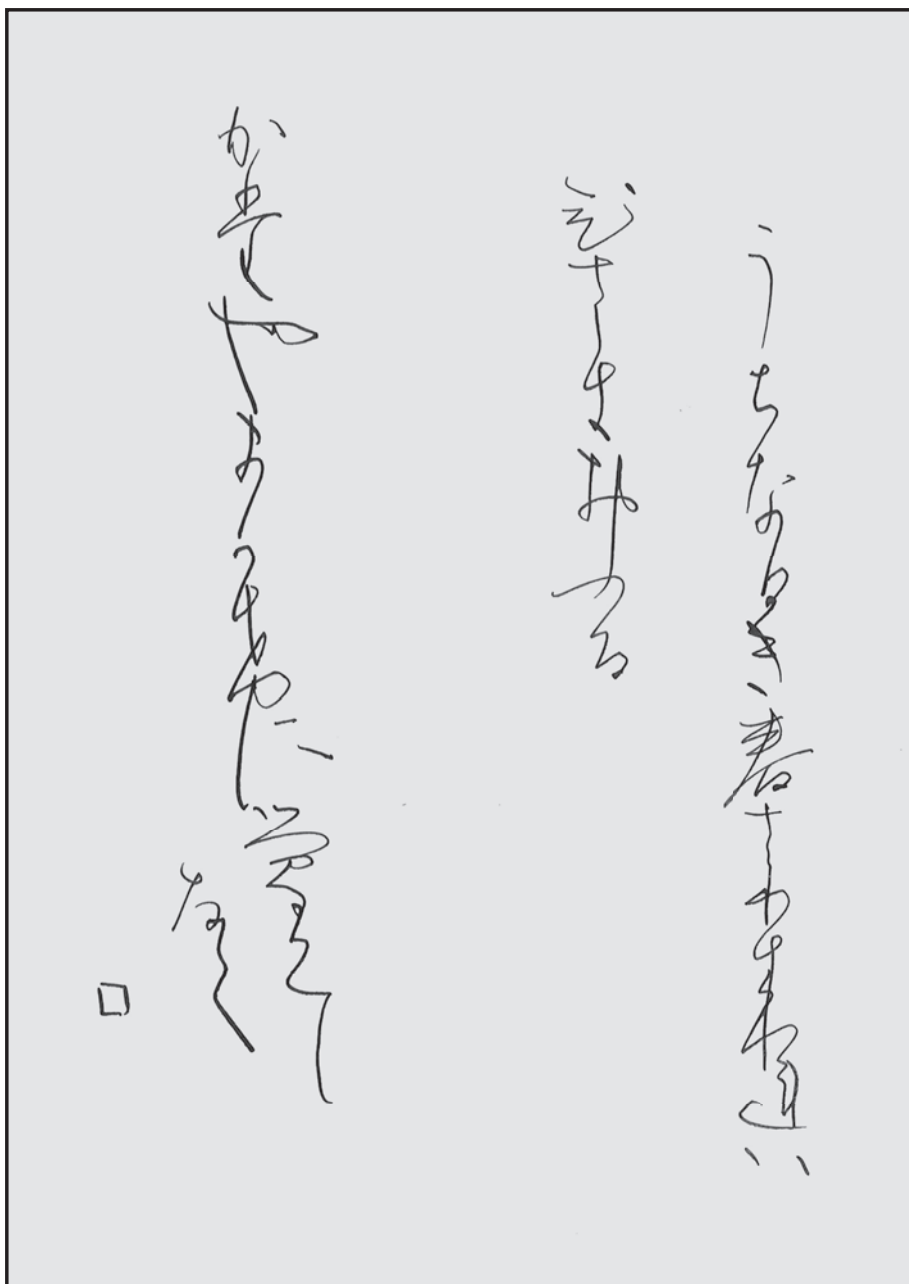
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

こう し ぎれ
香 紙 切



徒 つくし 可かどの 中納言
 者 くらは しの やまの 可か 可ひ 利より 可春 可が す
身 感 三
 み とし を つみて やた ちわ たる らん
奈 多 者 尔
 お な じう たあ は せ に
可 年 母 利
 か ね も り

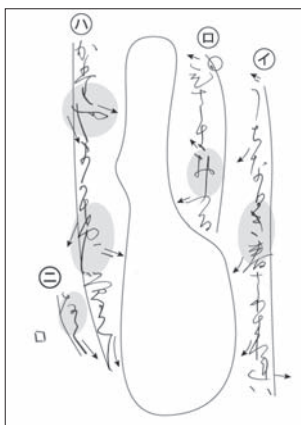


う^日ちな^利び^連き^八春^飛さ^支り^お来^奈れ^奈ば^奈ひ^奈さ^奈ぎ^奈生^奈ふ^奈る^奈

〔歌意〕 春が来たので、楸ひさぎの生えている山陰で鶯がさわやかに鳴いている。

〔出典〕
金槐きんかい和歌集

〔解説〕



- ①と②、①と③、④と⑤、④と⑥、⑤と⑥それぞれ呼応。
- 行の中の密・全体の粗密を考慮る。
- 作品の中の間大切。
- ↓ 指向性で余白をしめる。
- ①の位置大切。

◆ 3月課題予告

ふかくさ　うぐひす
深草の谷の鶯春ごとに
あはれむかしと音をのみぞ鳴く

締切り 2月23日(必着)

合格おめでとう。あなたの意欲と
努力の結果だと思えます。これで
目標に一步も二歩も近づいた事にな
りますね。大成功をお祈りして
います。あなたの才能が花開かん
ことを大いに期待しています。

合格おめでとう。あなたの意欲と
努力の結果だと思えます。これで
目標に一步も二歩も近づいた事に
なりますね。大成功をお祈りして
います。あなたの才能が花開かん
ことを大いに期待しています。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

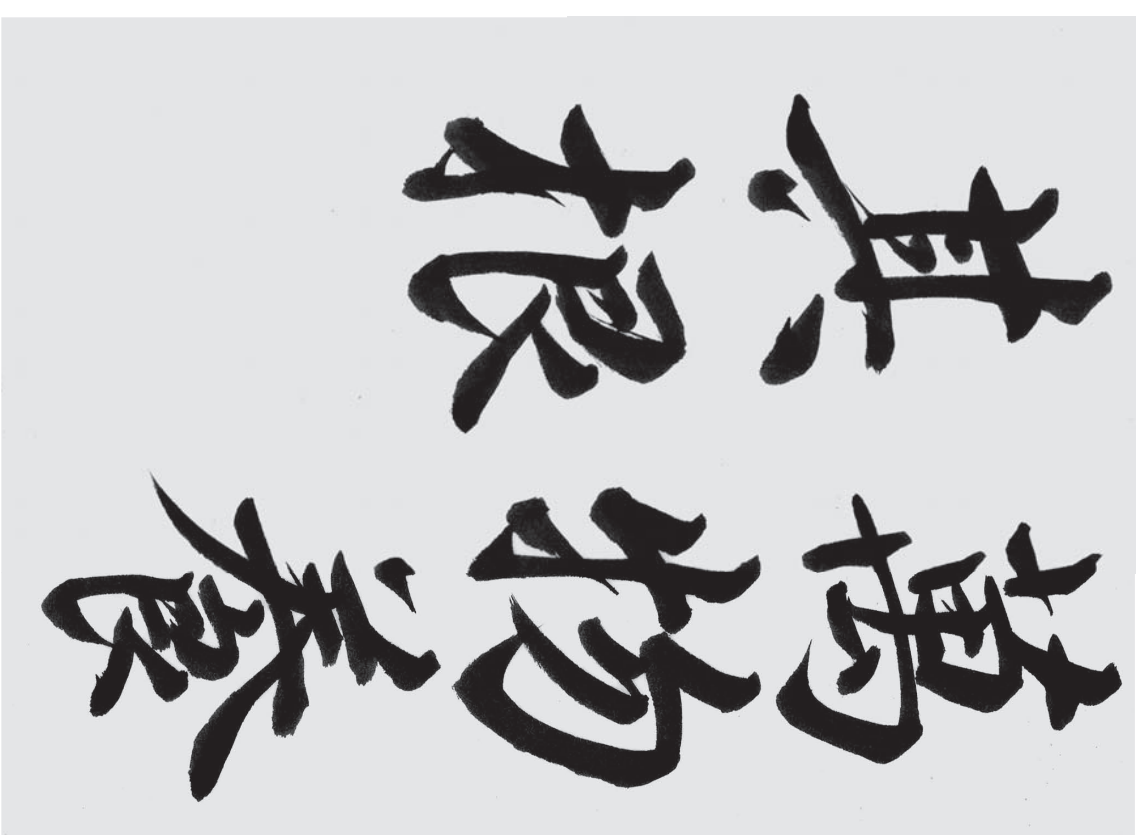
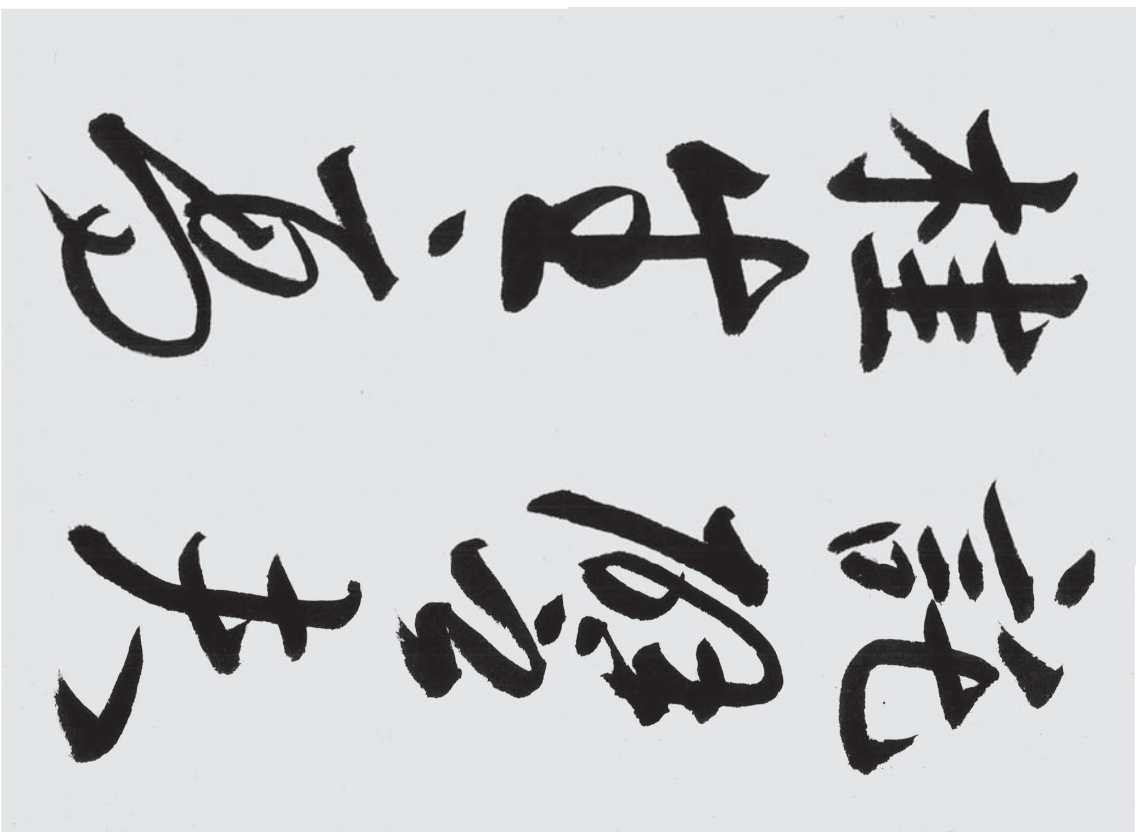
発 明 王 エ ジ ソ ン な く し て , 今 日 の
豊 かな 電 化 生 活 は 考 え ら れ な い .
茨 城 県 潮 来 市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

※潮米

一般部毛筆漢字課題

締切り 2月23日 (必着)



託

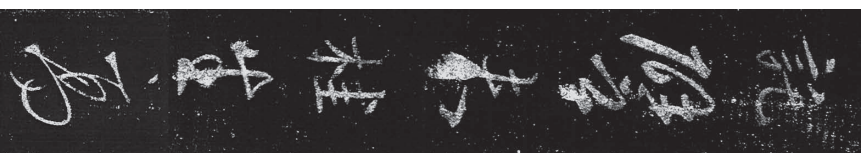
譬

夫

桂

生

高



準初段から師範まで

奥村暢之 臨
おくむら のぶ ゆき

新入から1級まで (行書)

須田一葉 書
すだ いち ちは

〔出典〕 集字聖教序 (672) 〔筆者〕 王羲之法書より集字

〔読み〕 託する (所なりと。) 譬^{たと}うれば夫^それ桂は高 (嶺に) 生じ、

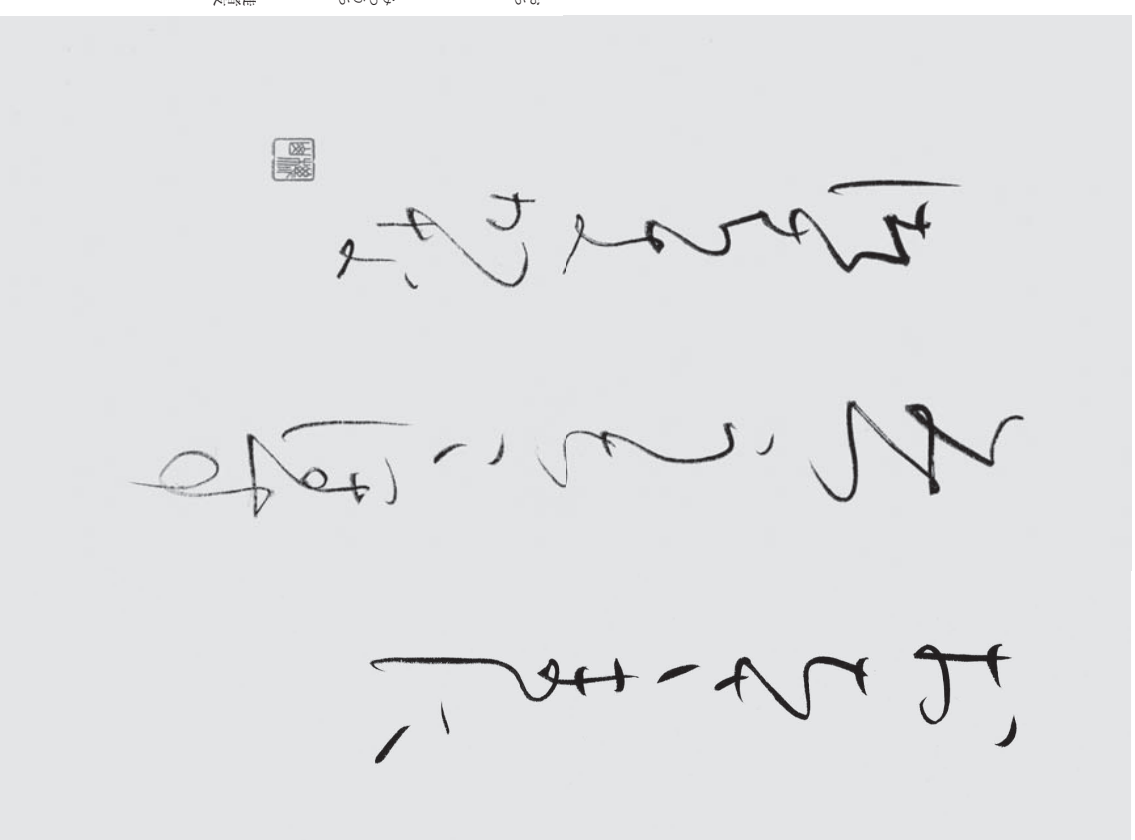
〔読み〕 萬物^{ばんぶつ}其^その根^ねを養^{やう}う。

〔大意〕 冬の間にその根を養って春の準備をする。

一般部毛筆かな課題

締切り 2月23日 (必着)

新入から1級まで

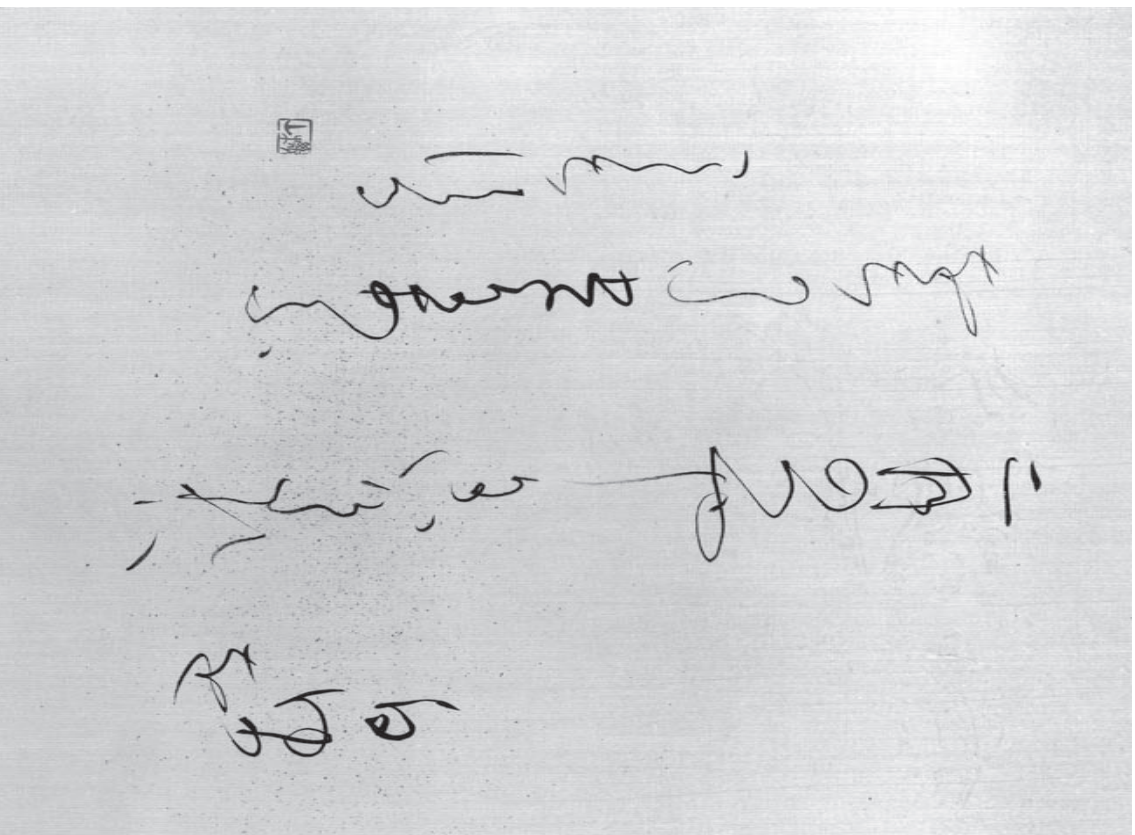


浅井機機 山先生書

【出典】 一 艇

【句意】 藪椿が、雨滴をためていたのを、落ちるとき、ぼとりとこぼしたというのである。一瞬の動きをとらえた句。

準初段から師範まで



■画課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

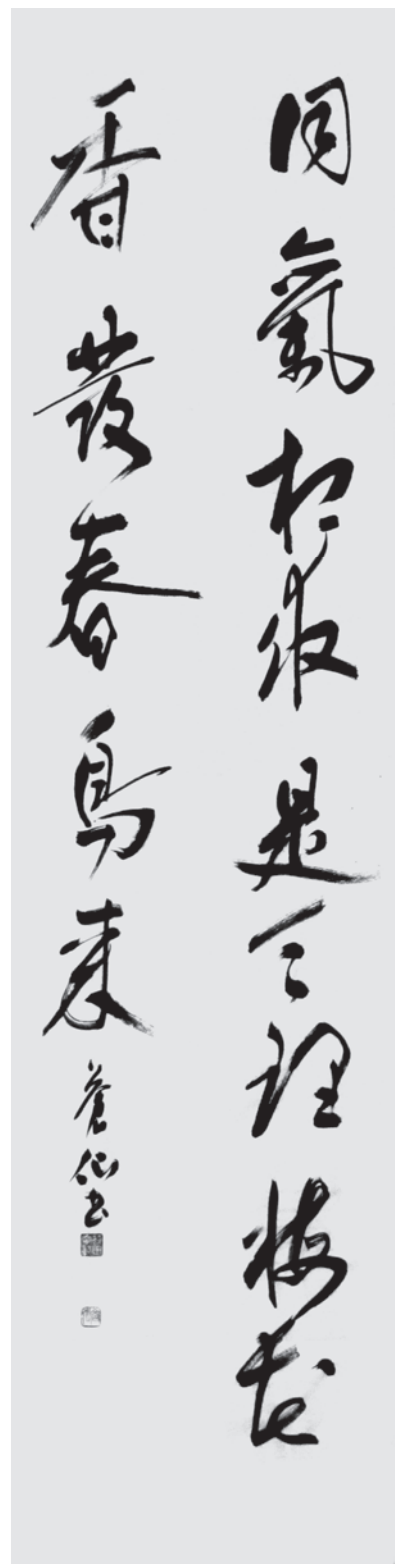
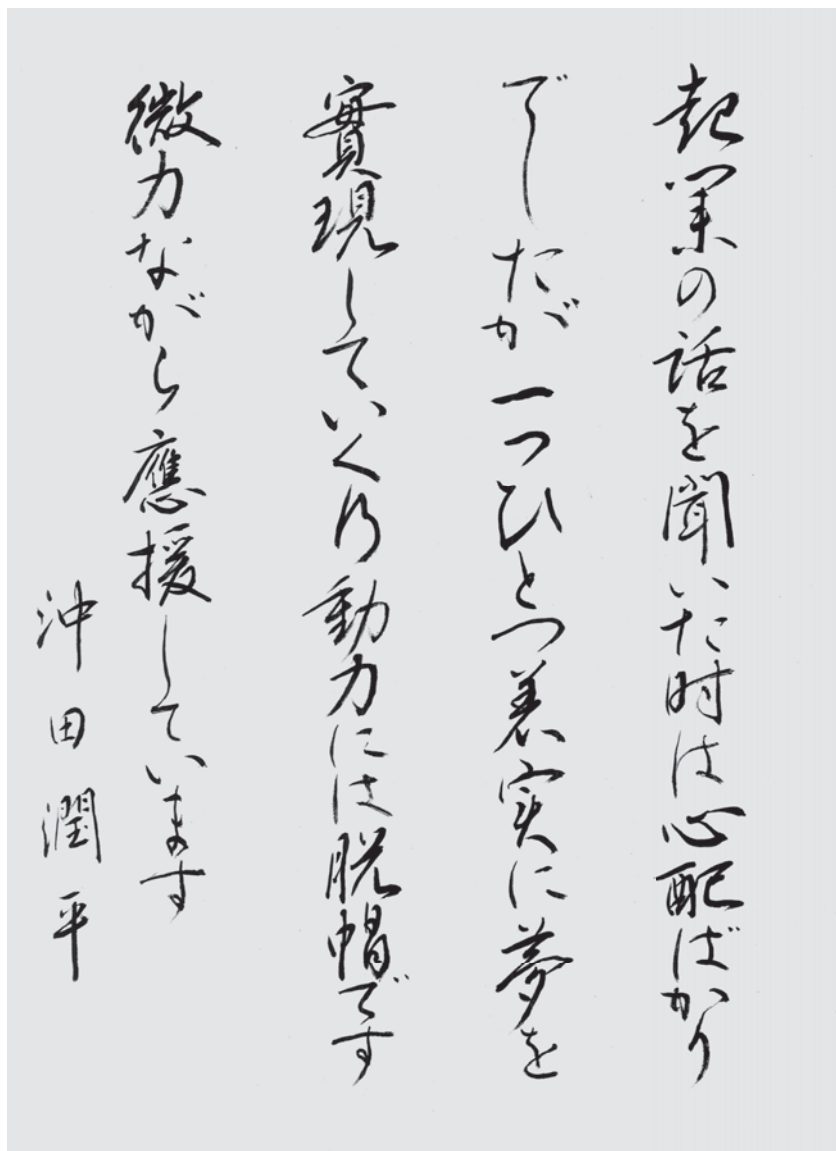
【出典】 九条武子

【歌意】 白百合を二月の部屋の瓶に活けたところが、ふと、遠くに居る人に逢う心地がしたことだ。

白ゆりを二月のへやにいたれば
遠方人にあふ心ちする

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 二月二十三日（必着）

半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書

半紙（334mm×240mm）

樋田玲華書

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

（ご自分の氏名）

起業の話聞いた時は心配ばかり
でしたが一つひとつ着実に夢を
實現していく行動力には脱帽です
微力ながら応援しています

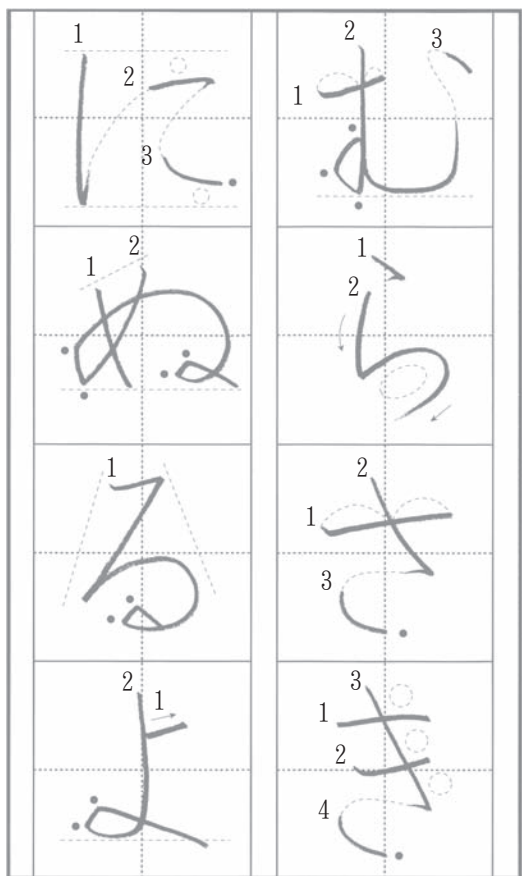
〔条幅解説〕「自分の頭で書いたんでは勉強をした事にはならん。他から自分のないものを取り入れて初めて勉強した事になる」。師の言葉です。そこに前進・向上があるので。私自身猛省しているところです。

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

初出品の方へ

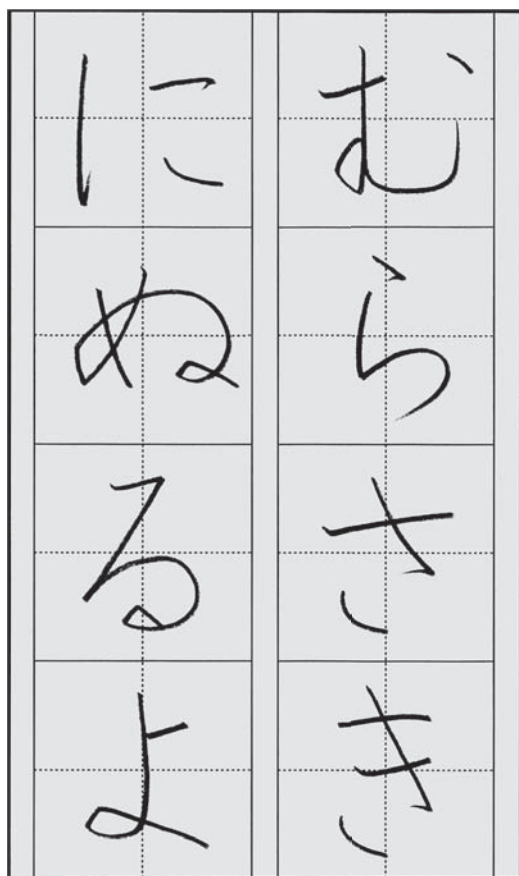
どうきのあいもとむるはてんり
同気相求是天理
ばいかこうはつしゅんちようきたる
梅花香發春鳥来
〔大意〕同じ気を承けたもの同士が求め合うのは天の道理であるが、梅の花が咲き、香りが発せられると、春の鳥たちが梅にやってくる。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



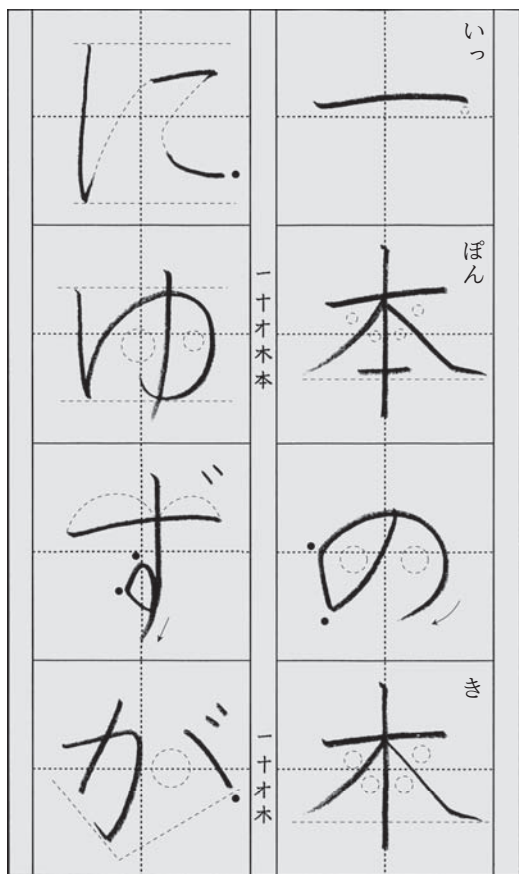
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



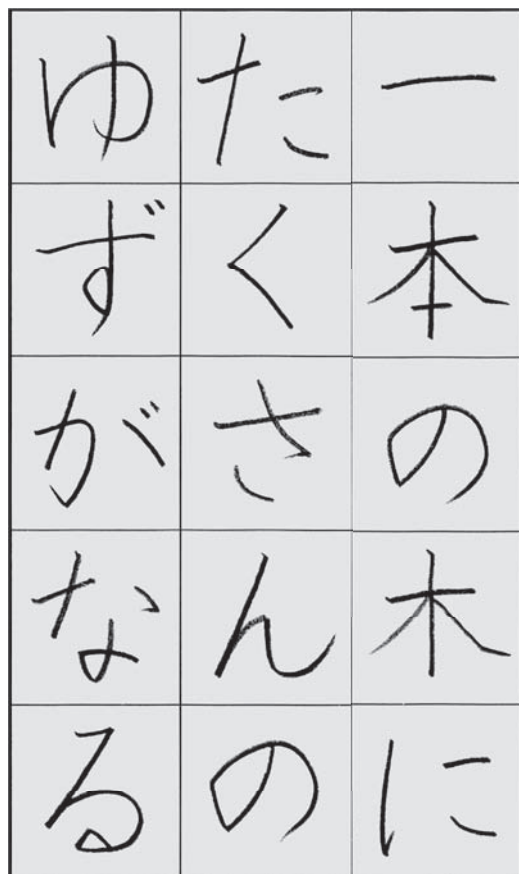
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

を	妹 いもうと
に	の
ぎ	左 ひだり
り	手 て

新入1級

で	に	妹
帰	ぎ	の
っ	り	左
た	二	手
よ	人	を

準初段以上

小二年

の	次 つき
温 オン	は
せ	冬 ふゆ
ん	山 やま

新入1級

の	家	次
温	族	の
せ	で	土
ん	冬	曜
へ	山	は

準初段以上

小三年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

く	五
雪	十
祭	年
り	続

新入1級

の	年	明
雪	続	日
祭	く	は
り	地	五
だ	元	十

小四年

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

所	歴
案	史
内	好
適	名

解説(よく見て習いましょう)

は	名	歴
適	所	史
任	案	好
の	内	き
友	に	で

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

野	産
菜	地
宅	直
配	送

解説(よく見て習いましょう)

便	野	産
で	菜	地
届	が	直
い	宅	送
た	配	の

小六年

(全員)

応	来	予
変	事	想
に	は	外
対	臨	の
処	機	出

中二・三年 (行書)

い	集	祖
記	め	父
念	た	が
硬	珍	長
貨	し	年

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

はな 村 翠 仙 書
花 村 翠 仙 書

帰 かえ	早 はや	明 あか	暗 くら	冬 ふゆ
り	く	る	く	は
ま	家 いえ	い	な	す
し	に	う	る	ぐ
よ		ち	の	に
う		に	で	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 2月23日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

やま かど りょく じょう 書
山 門 緑 城 書

作 つく	こ	父 とう	私 わたし	今 ことし
り	わ	さ	が	年 とし
ま	い	ん	鬼 おに	の
す	お	と	役 やく	節 せつ
	面 めん	一 いっ		分 ぶん
	を	緒 しよ		は
		に		



◎お手本はつけペン使用

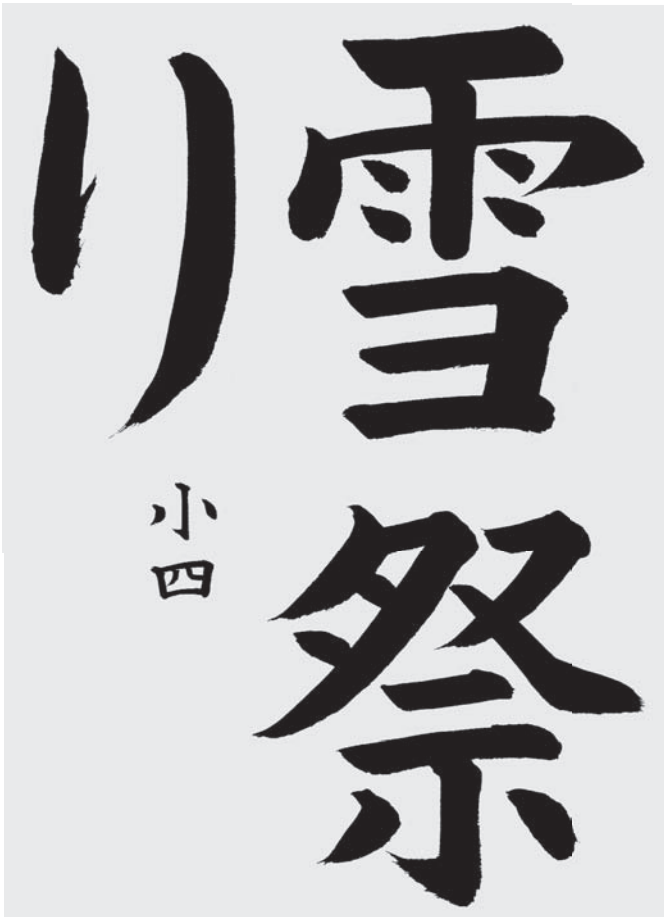
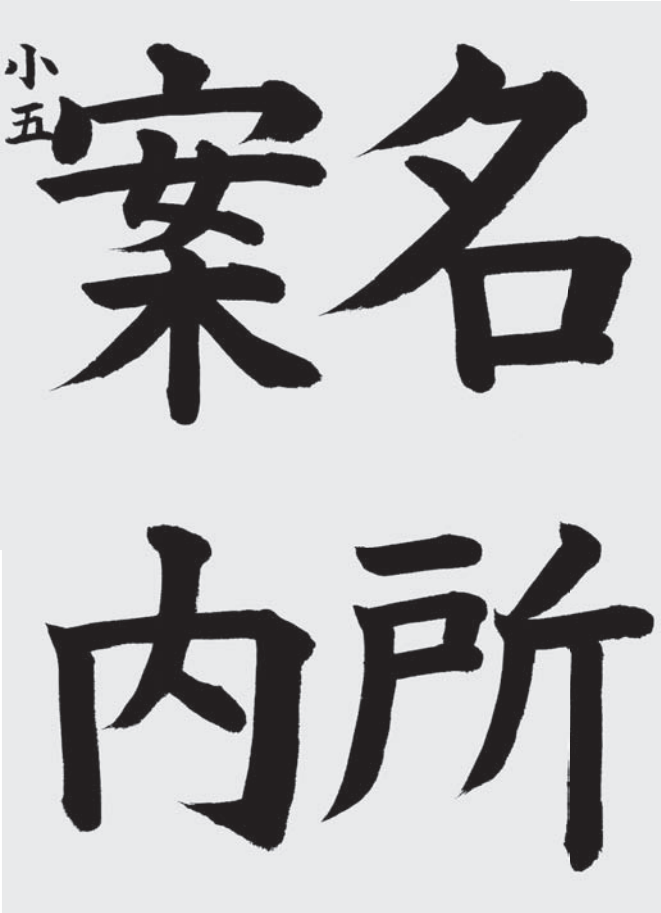
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

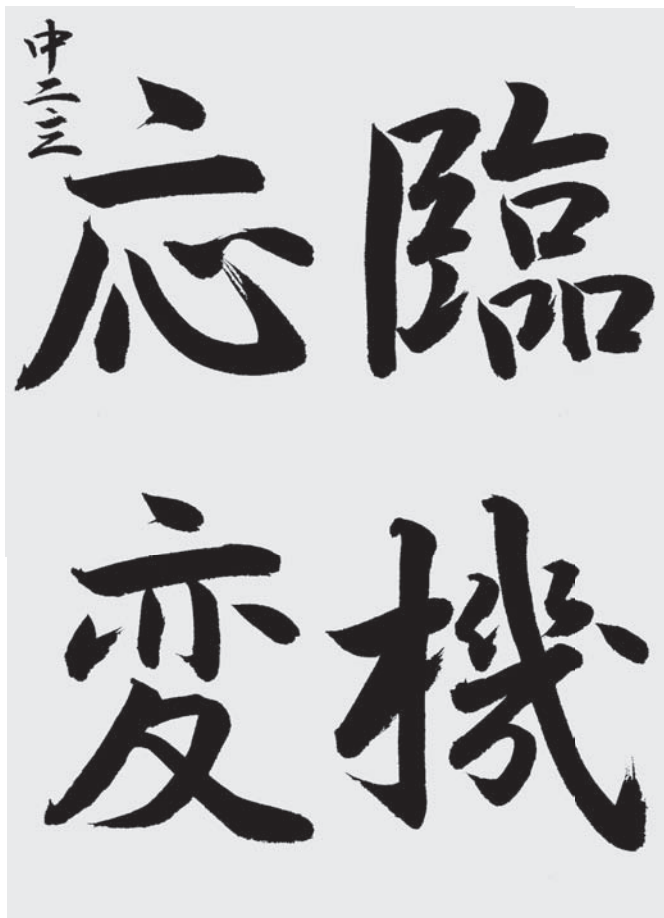


幼年／小二年
玉樹小
華書





小三、小五年
水野香竹書



小六・中二・三年

奥村暢之書

